

## オピニオン：「ウェブ調査」の利用はどうあるべきか

### [参考文献]

- [1] 大隅昇 (2019). 「ウェブ調査は世論調査に適用可能か?」, 「よろん」, p.1, 124号.
- [2] 大隅昇 (2018). ウェブ調査の科学性とは何か, 「市場調査」, p2, 303号 (2018年 No.2) .
- [3] 大隅昇 (2010). ウェブ調査とはなにか? — 可能性, 限界そして課題 —, 「市場調査」; 284号, 4-19 ; 285号, 2-27.
- [4] 大隅昇, 林文, 矢口博之, 簗原勝史 (2017). ウェブ調査におけるパラデータの有効利用と今後の課題, 「社会と調査」(特集:パラデータの活用に向けて) No.18 (2017年3月), 50-61.
- [5] 大隅昇, 鳩真紀子, 井田潤治, 小野裕亮 (訳) (2019). ウェブ調査の科学—調査計画から分析まで—, 朝倉書店.
- [6] 大隅昇, 鳩真紀子 (2012). 「総調査誤差」を巡って — ロバート M. グローヴス, ラースライバーク「総調査誤差—過去, 現在, 未来—」を中心に—, 「よろん」, pp.18-31, 第110号.
- [7] 大隅昇 (監訳), 氏家豊, 松本渉, 村田磨理子, 鳩真紀子 (訳) (2011), 調査法ハンドブック, 朝倉書店.
- [8] 一般社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会 インターネット調査品質委員会 (編) (2017). インターネット調査品質ガイドライン, 2017年11月版.
- [9] 日本規格協会 (2019). JISY20252:2019:市場・世論・社会調査及びインサイト・データ分析—用語及びサービス要求事項. [Market, opinion and social research, including insights and data analytics –Vocabulary and service requirements.]
- [10] 一ノ瀬裕幸 (2019). 市場調査の ISO が JIS 規格に! — 期待される公的調査・アクセスパネル市場への適用拡大, JMRA Annual Conference 2019, 2019年5月28日, 発表資料 [スライド].
- [11] 大隅昇他 (2000). 「調査環境の変化に対応した新たな調査法の研究」報告書, 文部省科学研究費, 特定領域研究「統計情報活用のフロンティアの拡大」(略称:マイクロ統計データ), 研究計画 A02 班(公募研究)「マイクロデータ利用の社会的制度の問題点」(課題番号:09206117, 平成9年度, 10年度).
- [12] 大隅昇他 (2004). 「調査環境の変化に対応した新たな調査法の研究」報告書, (\*) 文部科学省リーダーシップ支援経費(平成13年度, 平成14年度, 平成15年度)による研究.
- [13] 前田忠彦, 中谷吉孝, 横田有一, 中田清, 中島一郎, 上嶋幸則, 大隅昇 (2007), Web 調査方式による複数パネル間の比較実験, 日本行動計量学会, 第36回大会発表論文抄録集, pp.237-240.
- [14] 林知己夫 (2001). データの科学, 朝倉書店.
- [15] Keeter, S. (2019). Growing and Improving Pew Research Center’s American Trends Panel, Pew Research Center Methods.
- [16] Dillman, D.A., Smyth, J.D., and Christian, L.M. (2014). *Internet, Phone, Mail, and Mixed-Mode Surveys - The Tailored Design Method* (fourth edition). John Wiley & Sons.

(大隅昇)